

『Mind Charging』

第 233 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 3 月 11 日

只野昭雄の名言



また再建しましょう！

2011年に東北を襲った東日本大震災で、岩手県大船渡市にある只野さんの旅館は津波に巻き込まれました。只野さんは旅館の3階に避難して一名を取り留めました。その3日後に救出され、テレビ局からの取材を受けた時のコメントです。今回使用した写真も取材時のもので、非常に力強い表情だと感じます。それから只野さんは『再建おじいちゃん』の愛称で話題になりました。只野さんは従軍経験があり、さらにチリ津波も経験したそうです。何度も再建の経験があるからとはいえ、この惨状を目の前に被災後たったの3日でここまで前向きで、ある意味“深い”言葉を述べられる人ばかりではないと思います。その只野さんは、2012年9月に旅館の再建を見届けて亡くなられたそうです。先日も東北を中心とした大きな地震がありましたが、震災から10年という節目において、改めて当時を風化させないことや、これまでに起きた様々な災害復興の願いを込め、今回は只野さんの言葉を紹介させていただきます。

世界中の国々で暮らす人々にはそれぞれの人生があり、そんな誰かの大切な場所があり、大切な人がいます。それぞれの“人生の財産”を目の前で一瞬にして失った時の喪失感や絶望感は本人にしかわからないと思います。全く同じ経験をした人が他にいたとしても、“思いの大きさ”は人それぞれですから『そんなのへっちゃらだ』とは言えません。今回の只野さんに関して言えば、旅館に対して人生を賭けていたはずですから相当なショックだったはずで、心が再建されなければ行動や言動に移すことは不可能であることから、只野さんの強い覚悟を感じます。防ぎようのないこと以外で人の心が壊されることのないように、それぞれが“心”を大切に過ごしていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

東日本大震災(ひがしにほんだいいんさい)は、2011年(平成23年)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による災害およびこれに伴う福島第一原子力発電所事故による災害である。大規模な地震災害であることから大震災と呼称される。東日本各地での大きな揺れや、大津波、火災等により、東北地方を中心に12都道県で2万2000人余の死者(震災関連死を含む)・行方不明者が発生した。これは明治以降の日本の地震被害としては関東大震災、明治三陸地震に次ぐ規模となった。沿岸部の街を津波が破壊し尽くす様子や、福島第一原子力発電所におけるメルトダウン発生は、地球規模で大きな衝撃を与えた。(Wikipedia 参照)